

9月15日、朝のニュース（全国）

○台風第14号の影響で、沖縄・奄美や西日本に加え、東日本や北日本でも警報級の大雨や暴風となる可能性があります。

○台風の進路や強さによっては、予想が変わる可能性があります、気象庁は最新の情報を確認するよう呼びかけています



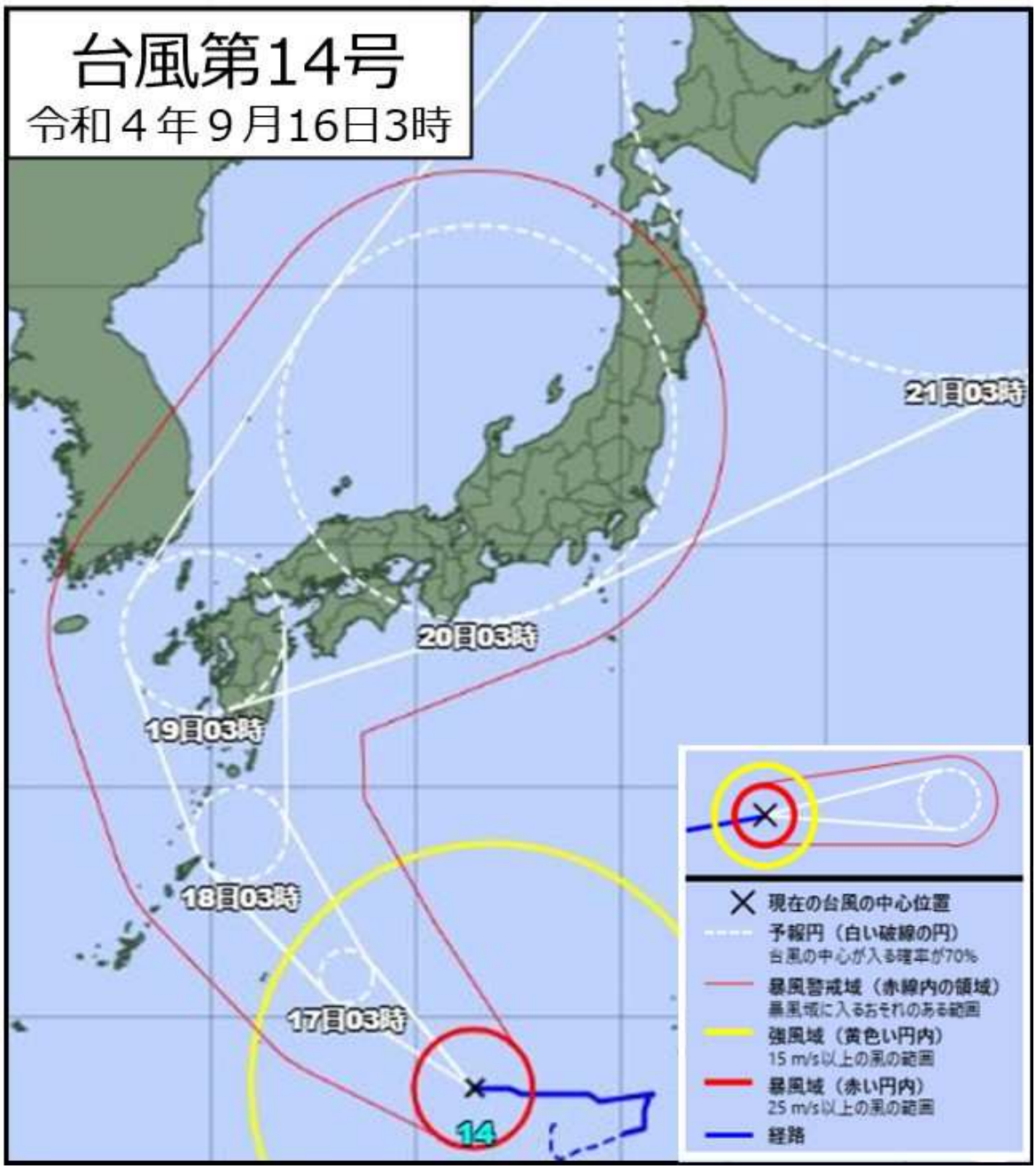
警報級の可能性 (可能性がある 可能性が高い)

	大雨				暴風			
	17日(土)	18日(日)	19日(月)	20日(火)	17日(土)	18日(日)	19日(月)	20日(火)
北海道								
東北								
関東甲信								
北陸・新潟								
東海								
近畿								
中国地方								
四国								
九州北部								
九州南部								
奄美								
沖縄								



9月16日、朝のニュース（関東甲信）

- 3連休の期間を中心に東日本と北日本を含む広い範囲に影響が出るおそれがあり、風や雨が強まる前に早めの備えを進めてください。
- 台風から離れた関東甲信でも湿った空気が流れ込むなど影響がでる見込みです。
- 台風の進路などによっては18日（日）から20日（火）ごろにかけて、警報級の大雨や暴風、高波となるおそれがあります。
- 台風から離れていても油断せず、連休中のスケジュールの見直しも視野に、最新の気象情報を確認するようにしてください。



9月17日、朝のニュース（関東甲信）

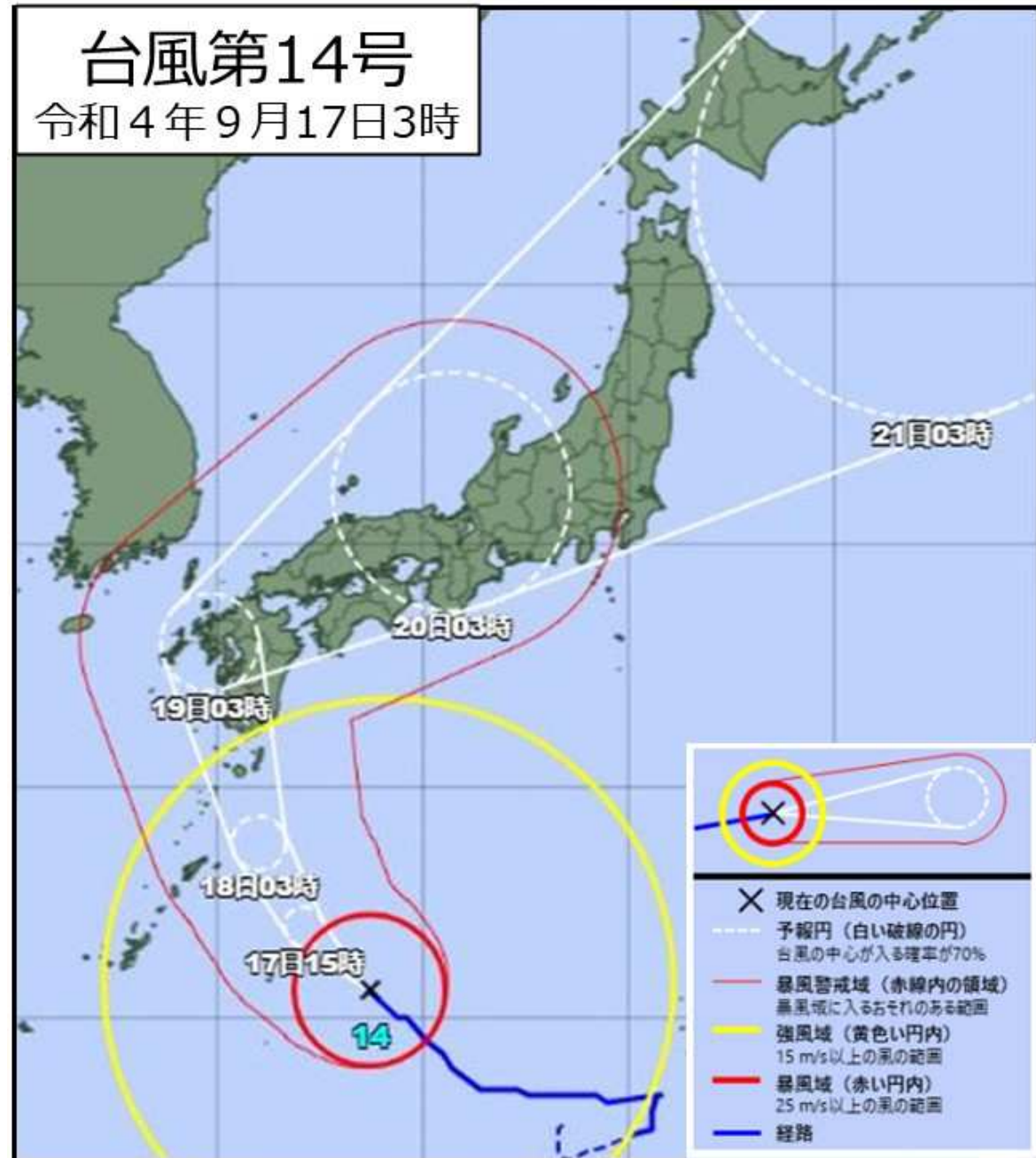
○日本の南にある大型で猛烈な台風14号は17日の夜、鹿児島県の奄美地方や九州南部にかなり近づいたあと、進路を北東に変え、本州付近を進む見込みです。

○関東甲信でも南から暖かく湿った空気が流れ込むため、18日から20日の火曜日ごろにかけて広い範囲で大雨となる見込みで、進路や発達によっては警報級の大雨になる可能性もあります。

○高波に加え、土砂災害や低い土地の浸水、川の増水などに警戒するよう呼びかけています。

○今回の台風は大型のため、離れていても雨や風が強まり、波も高くなるのが特徴です。

○海や山のレジャーは危険を伴う可能性もあり、連休中のスケジュールの見直しも視野に、最新の気象情報を確認するようにしてください。



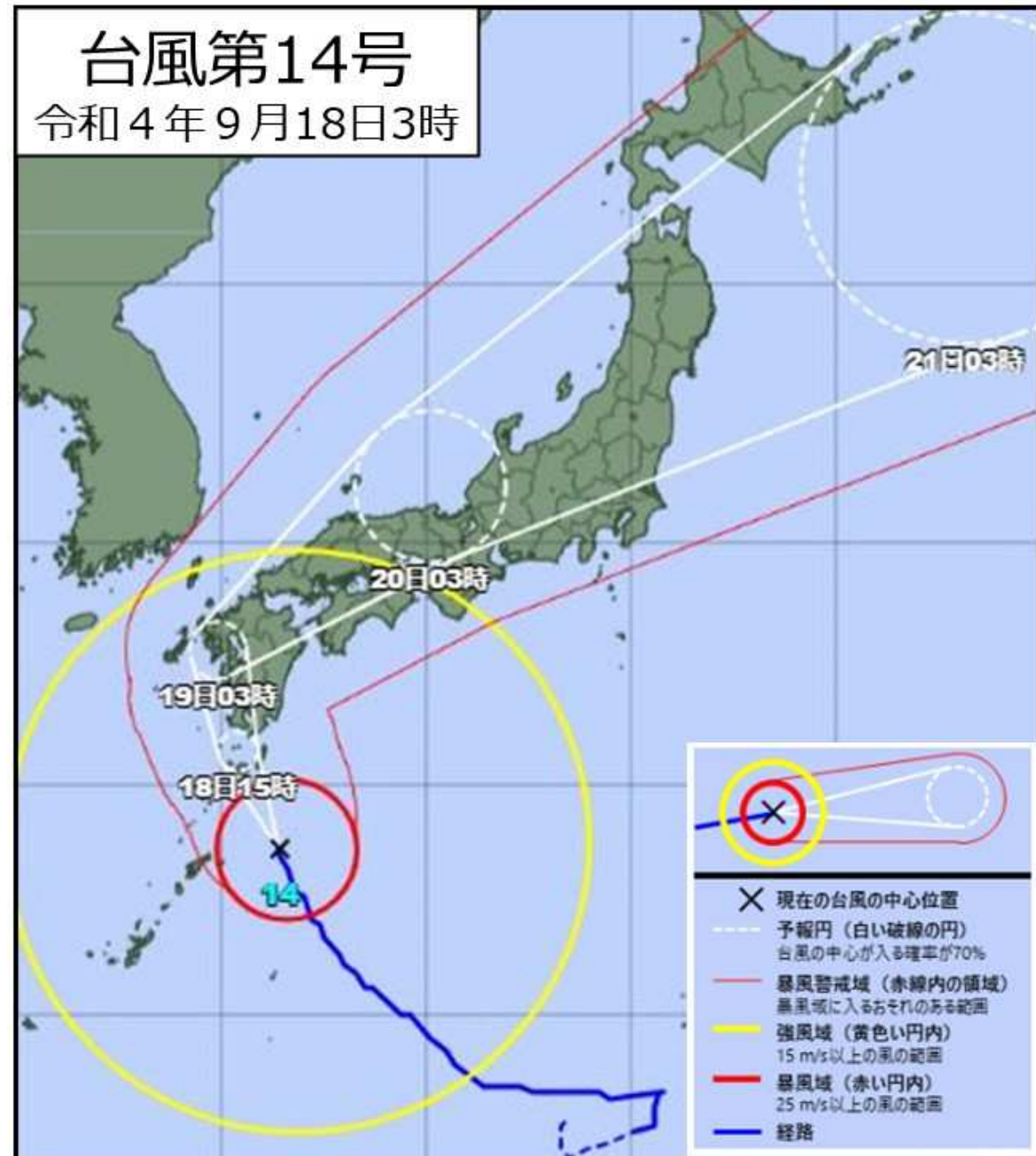
9月18日、朝のニュース（千葉県）

○大型で非常に強い台風14号は、19日にかけて九州にかなり接近して上陸するおそれがあり、その後進路を東よりに変えて、千葉県には20日の昼ごろに最も接近する見込みです。

○県内では台風の接近に伴って暖かく湿った空気が流れ込むため、20日にかけて断続的に雨や雷雨となり、局地的に激しい雨が降って大雨となるところがある見込みです。

○気象台は高波に警戒し、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水、それに強風に注意・警戒するよう呼びかけています。また、落雷や竜巻などの激しい突風にも注意が必要です。

急に冷たい風が強く吹く、雷の音が聞こえるなど、発達した積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物などに移動するよう心がけてください。

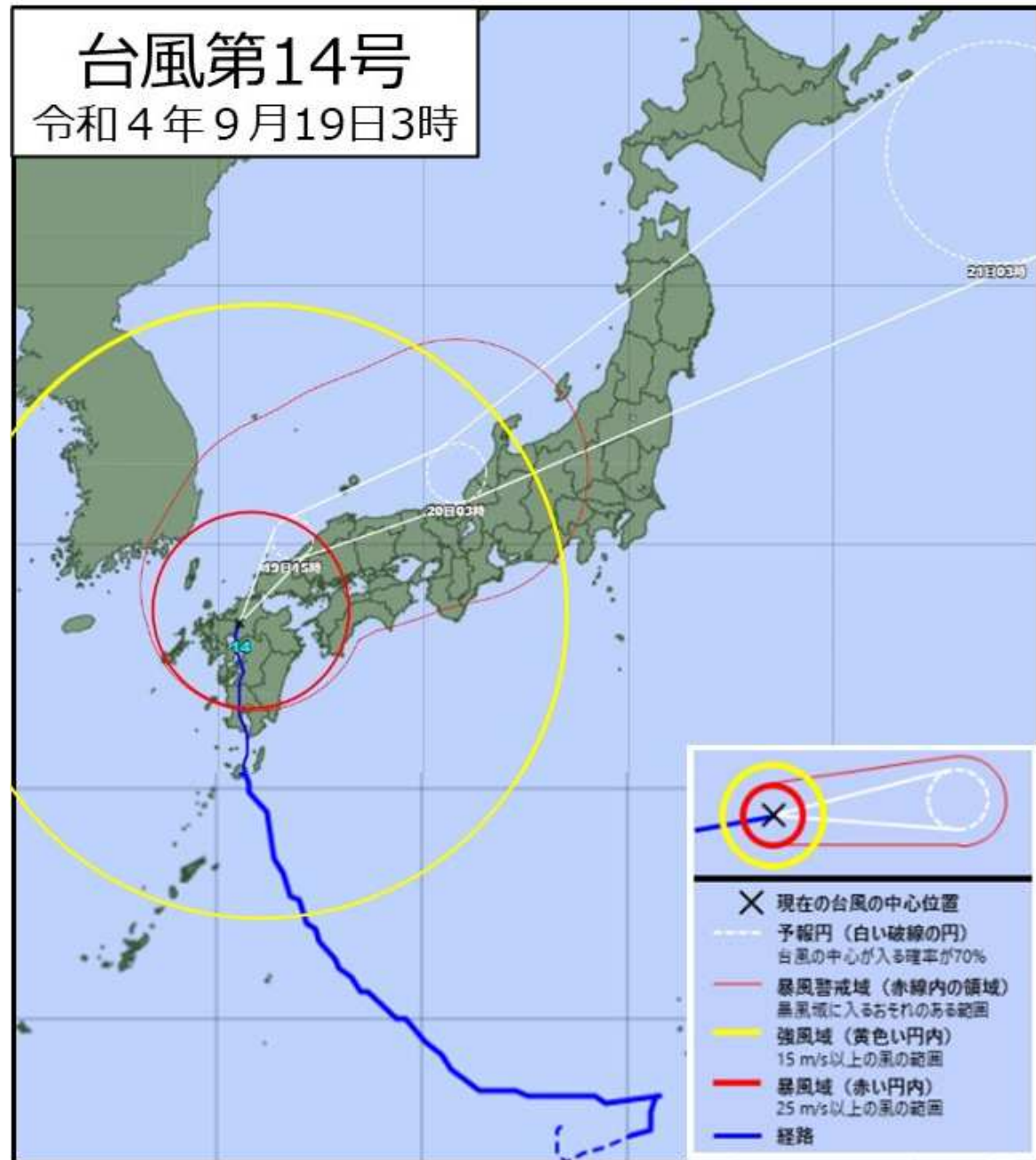


9月19日、朝のニュース（千葉県）

○大型の台風14号の影響で、関東甲信では断続的に激しい雨が降っています。

○台風14号は20日の明け方から朝にかけて千葉県に最も近づく見込みで、気象台は高波に警戒し、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水、強風に十分注意するよう呼びかけています。

○県内では台風の接近に伴って暖かく湿った空気が流れ込むため20日の昼前にかけて断続的に雨や雷雨となり、局地的に激しい雨が降って大雨となるところがある見込みです。台風の進路や雨雲の発達程度によっては警報級の大雨となる可能性があります。



9月20日、朝のニュース（千葉県）

○台風14号は20日明け方に新潟県に上陸し、東北東に進んでいます。

○しだいに千葉県から遠ざかるものの、海上を中心に非常に強い風が吹き海は大しけとなっていて、20日昼前まで高波に警戒するとともに朝は強風、夕方にかけては土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒してください。

○気象台は20日昼前まで高波に警戒するとともに、朝は強風、夕方にかけては土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒するよう呼びかけています。

○また、落雷や竜巻などの激しい突風にも注意が必要です。急に冷たい風が強く吹く、雷の音が聞こえるなど、発達した積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物などに移動するよう心がけてください。

